

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 スマイリーハーツ・アルファ		
○保護者評価実施期間	7年 9月 5日 ～ 7年 9月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	7年 9月 5日 ～ 7年 9月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	7年 9月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団における支援プログラム	他児との関りが上手に持てない児童も、小集団で楽しく遊ぶことによって興味を持つところから「何かおもしろそう」「やってみよう」につなげていく。特に公園遊びの中には粗大運動の強化の他、手をつないで歩く、順番をまつ等、社会のルールも学ぶ機会が多くあり、児童も思い切り体を動かすことで発散している面も見られることから、小集団で出来る遊びを中でも外でも取り組んでいく	小集団でのルールの必要な遊び等も取り入れていく
2	外出支援	とにかくいろいろな経験を増やすため現在は他事業所を合同で行う場合が多いが家族以外の人との外出支援で社会の中でのルールも学ぶ機会を設ける	当事業所独自の外出支援を企画し、もう少し遊び感覚の多いいろいろな経験が出来るよう企画していきたい
3	食育	楽しく行えるおやつクッキングから、野菜を使ったランチクッキングへと、まずは「食」に興味をもってもらうところから取り組んでいる。スーパーの食材を買いにいくところから野菜は「ちぎる」で硬さや匂いを身近に感じてもらう。食に対するこだわりが自分で作るにより少しでも興味に変わり「食べてみる」ところにつなげていく	少しずつ包丁で切る、ところに繋げていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	微細運動等個別課題	小集団の中で対応していく個別支援だが、普段は遊びの中に組み込んで行っている微細運動だが、集中して取り組む時間が少ない	座って出来る微細運動、指先課題の時間をプログラムの中に組み込み増やしていく
2			
3			